

にしお市議会だより

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～



新体制でスタートしました。
よろしくお願ひします。

9月定例会を8月29日から9月25日まで28日間の会期で開催しました。
9月1日、2日、3日には、20人の議員が市政について一般質問をしました。

CONTENTS

西尾市議会新体制……………	2～3	決算認定……………	18～21
私の抱負・自己紹介…………	4～6	審議結果……………	22～23
一般質問……………	7～16	お知らせ・編集室…………	24
ヒックス・議会報告会のご案内…	17		

にしお市議会だよりは西尾市議会のホームページでも見ることが出来ます。



西尾市議会 新体制



●副議長
中根 志信



●議長
松井 晋一郎

西尾市議会7月臨時会において議会人事が行われ、議長に松井晋一郎氏、副議長に中根志信氏が選出されました。

また、議会選出監査委員には、青山繁氏の選任が同意されたほか、委員長、副委員長をはじめとする各委員会の委員も決定しました。

西尾市議会の新体制が決まりました

【議長、副議長 就任あいさつ】

市民の皆様におかれましては、日頃から西尾市議会に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、去る7月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。光栄に存じますとともに、職責の重さを痛感し、身が引き締まる思いでございます。本市議会は歴史と伝統を重んじ、社会の変化に対応していく姿勢を基盤とし、先人たちの知恵と努力により市政の発展、住民福祉の向上を目指して着実に歩み続けてまいりました。

公党の議員増により様変わりした議会構成の中、改選後の最初の正副議長として、より一層市民に信頼される開かれた議会を目指し、活発な議員間討議を踏まえ、公平にして円滑な議会運営に努めてまいります。

グローバル経済の大変革期において、本市が健全な財政運営により持続可能な自治体となるため、聖域なき行財政改革は不可欠です。超少子高齢社会の到来に備え、人口減少対策や地域経済の発展など山積する幾多の課題を解決して地域間競争に打ち勝つ自治体を目指していかねばなりません。

また、本市の施策については、近年、全国各地で地震や大雨などの自然災害が発生しています。南海トラフ地震が危惧されることから市民の生命と財産を守る防災・減災対策は喫緊の最重要課題です。さらに、巨費を投じる広域ごみ処理施設の整備事業などの大型事業に対し、慎重な審議を重ねて市民本位の事業となるよう鋭意努力いたします。

二元代表制の一翼を担うべく、市長、執行部と真摯な議論を交わし、市民の皆様の声をしっかり反映させ、市民に寄り添う市政を実現する責務を果たしてまいります。

今後とも本市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

◎委員長 ○副委員長 敬称略

愛知県後期高齢者医療 広域連合議会議員	西尾市土地開発公社	会派党代表者	広報委員会	政治倫理審査会
松井晋一郎	理事 山本道代 中根文彦 松崎隆治 大塚久美子 中村眞一 筒井登 監事 本郷照代	くろの拓海 山市志保 細井まゆみ 神田たかひろ 中根文彦 藤井基夫 磯部雅弘 松崎隆治 大塚久美子 本郷照代 前田修	◎ 中根 志信 ○ 山本 道代 山市 志保 大須 賀竜也 細井 まゆみ 神田 たかひろ 岩下 一隆 山本 栄児 福西 あきひと 前田 修	◎ 大塚久美子 ○ 前田 修 細井まゆみ 神田たかひろ 岩下 一隆 牧 博之 小林 孝幸 藤井 基夫

西尾市議会 新体制

議会運営委員会

所管事項 議会運営や会議規則、委員会条例及び議長の諮問などに関する事項

- 藤井 基夫
- 牧 一心
- 小林 孝幸
- 磯部 雅弘
- 松崎 隆治
- 大塚久美子
- 本郷 照代
- 前田 修

オブザーバー
 くろの拓海 山市 志保
 細井まゆみ 神田たかひろ



●議会選出監査委員
青山 繁

企画総務委員会

所管事項 総合政策部、総務部、資産経営局、危機管理局、会計課、議会事務局、監査委員事務局、消防本部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項



◎磯部 雅弘 ○中根 文彦 くろの拓海 渡辺 将司 神田たかひろ ささきえみ 松井晋一郎 筒井 登

厚生環境委員会

所管事項 健康福祉部、環境部、市民病院の所管に属する事項



◎福西あきひと ○中村なおゆき 大須賀竜也 細井まゆみ 岩下 一隆 松崎 隆治 前田 修 中村 真一

文教交流委員会

所管事項 子ども部、交流共創部、教育委員会の所管に属する事項



◎山本 道代 ○牧 一心 山市 志保 山本 栄児 牧 博之 杉浦こうき 藤井 基夫

経済建設委員会

所管事項 市民部、産業部、建設部、都市整備部、上下水道部の所管に属する事項



◎小林 孝幸 ○大塚久美子 藤田 秀徳 石川まゆみ 中根 志信 青山 繁 本郷 照代

私の抱負・自己紹介

減税日本にしお

① くろの 拓海



庶民目線で
はじめの一步

みなさん、こんにちは！減税日本の新人議員として民間企業での経験も活かしつつ、庶民目線での政治活動を行っていきます。

れいわ新選組 西尾

② 山市 志保



子育て当事者として
社会を変えていく

1歳と4歳の子育て中です。皆様、毎日、子育て・家事・お仕事、本当にお疲れ様です。政治は生活です。一緒に変えて行きましょう！

みらい創政会

③ 大須賀 竜也



誰もが自分らしく
生きられる社会へ

吉良地区の歴史や観光資源を大切に、地域活性化と発展に努め、12年の秘書経験を活かし、子育て世代の一員として声を届けます。

みらい創政会

④ 藤田 秀徳



共に歩み、成長します

新米市議として、地域の声に耳を傾け、一緒に考え、学びながら、よりよいまちづくりを目指します。

新しい風

⑤ 渡辺 将司



ワクワクする市政を
実現！

幡豆地区出身の子育て中の現役世代です。福祉の仕事に20年以上携わっています。寄り添う姿勢を大切に市民に身近な存在を目指します。

立憲民主党西尾

⑥ 細井 まゆみ



高齢者が安心して
元気な西尾へ！

移動スーパーの経験を活かし、高齢者さんのご意見を市政へ届けます。まずは行動！自ら動き、元気な西尾市を作ります！！

参政党西尾

⑦ 神田たかひろ



自然の豊かさを
こどもたちに繋ぐ

幡豆生まれ。創業80年の老舗鮮魚店を継承し、飲食店を経営。魚の目利き、さばき、あさり掘りが得意な自然を愛する元プロゴルファーです。

無所属

⑧ 石川 まゆみ



市民の声を聴き
透明な市政で地域発展

「食」で西尾市民の健康を守る！食の安全を基盤に完全無所属で、明るくフレッシュな発想の提案を目指します。

無所属

⑨ 岩下 一隆



現地・現物で地域との
繋がりを！

「住み続けたい・住みたい」と思える魅力ある町にしおの実現に向け、モノづくり企業で培った経験を活かし頑張ります。

公明党西尾市議団

⑩ 山本 栄児



誠実と行動力で
西尾を元気に！

1期1年目となる本年！まずは希望と安心あふれる西尾の未来を実現するため「小さな声」を聞く力をしっかりと磨いてまいります！

私の抱負・自己紹介

新しい風

⑪ 牧 博之



**改善の実現に向けて
誠実な取組を**

少子高齢化・労働力不足による国際化など多くの課題改善に向け、人との繋がりを大切に市民の代弁者となれるように日々勉強を続けます。

無所属

⑫ 杉浦 こうき



**最大の役割「監視機能」
を果たす！**

元・岡信の金融マン。小1、年少、1歳の父。消防団員(ぜひ入団を)。地元の一色に限らず、寺津や吉良など広域で活動。
信条：是々非々

新しい風

⑬ 牧 一心



**公民連携で進める
まちづくり**

観光・農業・漁業と連携し、地元資源を活かした事業を後押し。財政運営の見直しで、暮らしに必要な施策の提言を進めていきます。

無所属

⑭ ささき えみ



**今期は、よりパワー
アップします！**

4人の子の母です。性格は、すごく大雑把で、とてもせっかちです(笑) 元気いっぱいお茶摘みが得意な西野町っ子です♡

新しい風

⑮ 福西あきひと



**地域の声を市政へ
届ける橋渡し役に**

2期目の議員として、地域課題の渋滞問題や優良農地の保全、また防災インフラ拡充など「市民と共感できる市政」を実現します。

みらい創政会

⑯ 山本 道代



**ご縁を大事に、想いを
つなぎます**

1期4年の経験を活かし、ネットワーク軽く活動していきます。皆さまとのご縁を大切に、心と体の健康づくりに貢献します。

新しい風

⑰ 小林 孝幸



**皆さんの声を
西尾市政へお届けする**

議員2期目がスタートし、1期4年間で培った経験を活かして、これからの4年間も地域の課題解決に真摯に取り組んでまいります。

みらい創政会

⑱ 中村なおゆき



**共につくる 幸せ
あふれる西尾の未来**

福地南部コミュニティ会長。地域行事と子ども食堂、現場主義で共創。プロギングで街を美しく、幸せを実感する毎日へ。市民と共に前進！

新しい風

⑲ 中根 文彦



**地域の声を市政に着実に
反映**

道路整備や保育園建て替え、防災強化、部活動地域移行など、市民生活の課題に全力で取り組み、未来を拓くまちづくりを進めます。

新しい風

⑳ 中根 志信



**市民に寄り添う
市政の実現めざす**

市民の目線、元新聞記者の目線で改革！▼地域コミュニティ力の再構築▼議員定数の削減▼小・中学校等の給食無償化をめざします。

私の抱負・自己紹介

みらい創政会

⑳ 藤井 基夫



3期目も引き続き、産廃問題、三河湾再生、防災・減災など、地域の声を聞いて、課題解決に取り組んでまいります。

ブレない、こびない、逃げ出さない

みらい創政会

㉑ 磯部 雅弘



還暦となり、節目となる3回目の厄年。心身を整え、誠実に一歩ずつ。市民の安心のために取り組みます。

いま、できることを全力で

みらい創政会

㉒ 青山 繁



郵政本省を始め、各地の郵便局に勤務し、かんぽの宿浜名湖三ヶ日で旅館業も経験。とにかく、日々元気に働けることにまず感謝です。

わかりやすく、身近な議員でありたい

新しい風

㉓ 松崎 隆治



平坂小・中、西尾東高卒の西尾育ち。妻とともに5歳と3歳の娘を育てる子育て世代。家族でお出かけをすることが楽しみです。

笑顔あふれるまちの実現に努めます

公明党西尾市議団

㉔ 大塚久美子



明るく朗らかです。保育士と介護福祉士の経験を生かし、ひとりを大切に、寄り添い、現場第一で行動することを心がけています。

寄り添い、声を形に

みらい創政会

㉕ 本郷 照代



4期目を務めさせていただきます。「チャリンコばあば」として引き続き、大好きな自転車に乗り、町の人々のお声を聞き、市政へと届けます。

全ての人の笑顔輝くまちづくり

みらい創政会

㉖ 松井晋一郎



議会機能を活性化の中で、防災・減災対策や少子高齢社会に対応した持続可能な西尾市の発展と地域づくりに尽力します。

議会改革と持続可能な西尾に向けて

日本共産党西尾市議団

㉗ 前田 修



物価高で暮らしが大変の声、学校体育館にエアコン、医療介護の負担軽減…市民の声を受け止め、公正でムダのない市政をめざします。

市政のチェック役を果たします

無所属

㉘ 中村 真一



今後は、市民サービスを保ちながら費用対効果を考えた事業選択が強いられるので、このことについて提案をしていきたい。

財政危機の西尾市をどう救うのか！

無所属

㉙ 筒井 登



去る6月の選挙で選ばれた11人の新人議員の皆さんも優秀な方ばかりです。学ぶ気がある議員さんとともに学んでいきたい。

西尾市議会のグレードを上げたい

一般質問 Q & A



無所属

岩下 一隆 議員

 詳細はスマホで
チェック!


防災・減災について

Q 津波避難タワー建設の進捗状況は。

A 令和6年度の交付金が想定よりも低く、財源確保に苦慮したことを受け、7年度は交付金内示額を確認してから発注することにした。

国から令和7年度の交付金内示額が提示され、内示額は要望額に対して交付率が57%だったため、事業内容を見直し、整備予定の2基のうち、小栗地区のみ発注し、藤江地区の発注は見送ることとした。

Q 避難経路上の道路状況の確認方法についての考えは。

A 市ホームページや防災アプリ、市公式LINEなどが

ら取得することになる。災害時の道路情報は安全に通行できるルートを確認するための重要な情報である。集めた情報を発信するまでのタイムラグが課題である。

野犬の状況は

Q 野犬の数や生息地を把握しているか。

A 令和6年度の捕獲数103頭のうち、吉良町56頭、東幡豆町27頭、旧西尾地区9頭、西幡豆町5頭、その他6頭。吉良町と東幡豆町に多く生息していると思われる。

Q 吉良町や東幡豆町で捕獲数が多い理由は。

A 山や川など自然が豊かで、住みかとなる隠れ場所が多く、豚舎や鶏舎があり、餌になるものが多いなど野犬に住みやすい環境が整っている。


新しい風

渡辺 将司 議員

 詳細はスマホで
チェック!


人口減少対策及びワクワクするまちづくり

Q 旧幡豆郡の人口減少対策は。

A 豊かな自然環境や歴史文化といったポテンシャルを生かし、魅力と感じてもらえるような情報発信を強化し、移住者の増加を図りたい。

Q 長年放置されている幡豆地区の県有地の開発は可能か不可能か、本市の考えは。

A 県が判断するが、利活用には様々な問題があり現時点においては非常に難しい状況にある。

Q 本市の考えと備えは。また、課題は。

A 防災・減災対策は、市の重点施策の柱と位置づけ津波避難タワーや備蓄品などの整備を進めている。課題としては、市民一人ひとりが日頃からの備えを進めることが重要と考える。

Q 災害時に重要な役割を担う西尾市民病院のハード面・ソフト面の整備状況は。

A 耐震構造の建物、断水時の上水の供給、停電時の電源供給に備えるとともに、災害医療チームの設置や災害用備蓄に努めている。

名鉄西尾蒲郡線の在り方

Q 今後の利用促進の考えは。

A 新たに9月からは利用者数を表示する看板を設置し、利用状況を見える化する。今後は、鉄道事業者と行政、市民が連携・協働し、路線や沿線の活性化を図り、長期的な利用者の確保に取り組む。


幡豆地区3カ所に設置された看板

南海トラフ地震における防災・減災対策

一般質問 Q & A



公明党西尾市議団

大塚 久美子 議員



詳細はスマホで
チェック!



生徒の負担軽減と 主体的な学校づくりに向けて

Q 置き勉(置き勉強道具)の運用状況について、全35校が『認めている』『配慮している』と回答しているとのことだが、具体的な実態には学校ごとに差があるのではないか。

A 置き勉の運用については、各学校の裁量に委ねられている。

Q 令和8年度の新制服導入に向けて、校則見直しの検討はどこまで進んでいるか。また、全校に共通の進め方や期限を示しているのか。

A 校則の見直しは、学校長に権限があり、市教委で示していない。

市民が投票しやすい環境づくりを

Q 投票所入場券発送時に、期日前投票所マップや不在者投票の方法、送迎タクシー情報を掲載した案内チラシを同封し、有権者が掲載内容を「一目で理解できる」紙面構成とするなどの検討をしないか。

A 投票所入場券は、現在、はがき形式で発送しているが、封書形式への検討をしたい。また、案内チラシの内容も分かりやすい内容に努めていきたい。

Q 封書形式への変更はいつ頃をめどとしているか。

A 令和8年1月稼働予定の新システム移行に合わせ、封書形式への変更を前向きに検討していく。



無所属

ささき えみ 議員



詳細はスマホで
チェック!



赤ちゃんとお母さんに必要な産後のケアを

Q 母子連絡協議会を再開して、事業者の声をきくべきだと思うが、どうか。

A やって行く方向で進める。

Q 産後のケアとして、無料で利用を選択できるような取組を検討しないか。

A 他市の状況を調査・研究し、利用者に喜ばれるような取組について検討していく。



学校に行きにくい子どもたちに選択肢を

Q 保護者同士の相談・雑談の場があるとよいと聞くが行われているか。

A 子ども・若者総合相談センター「コンパス」にて「ふぁみカフェ」という保護者が語る場を月に1回開催している。「コンパス」未登録の保護者も参加できるイベントも開催している。

Q 授業に参加できるようにタブレットを利用したオンライン授業の導入を検討しないか。

A オンライン授業等による支援について、有効かつ適切であるか留意する必要がある。

子どもたちの室内の遊び場は

Q 西尾市生涯学習センター内の遊び場について、民間に入ってもらい有料で運営することは検討したか。

A 検討したが、室内と中庭を自由に出入りできることと、子育て世帯や子どもだけでも気軽に利用できることを重視し、無料とした。

一般質問 Q & A



みらい創政会

磯部 雅弘 議員

詳細はスマホで
チェック!

学校教育の在り方

Q スマートフォンやインターネットの利活用には、リスク理解と倫理観の醸成が不可欠と考える。学校における具体的な取組はどのようなか。

A スマートフォンやインターネットは、便利な反面、情報のリスクを知ることや倫理的な判断力を養



う教育が不可欠である。具体的な事例をもとに学ぶことのできる「GIGAワークブックにしお」を活用し、情報活用能力と情報モラル教育を推進していく。

Q 教育長の考える3期目のポイントは。

A モノや情報が多くなればなるほど、哲学や思想等の精神文化に支えられた価値観が必要になる。産業振興のための人材育成が必要であるが、同時に、人文科学を進展させ、人間教育を進めていかないと、幸福感をもたらす未来社会の担い手を育成できない。

子どもたちに人や社会、自然と関わりを深めさせる中で、学年に応じた適度な困難を乗り越えることにチャレンジさせ、体幹のように、揺るがぬ価値観と強靱なメンタルを意味する「心幹」を培う教育が重要である。

もう1点は、家庭における教育力の向上である。0歳から15歳までを見通して、生徒指導上の問題や子どもたちの発達の実状と課題について知見を集約し、子どもたちの健全育成のために家庭教育を支援する手立てを模索していきたい。



みらい創政会

中村 なおゆき 議員

詳細はスマホで
チェック!

西尾市民病院の経営改革を

Q 第三者が監査を実施する個別外部監査制度があるが、その効果と必要性をどう評価するか。

A 個別外部監査は全国的な事例は、主に資金不足団体で実施される。当院は月次の例月出納検査と決算審査を受けており、必要性は感じていない。

Q 新病院の建設に合わせた経営形態のあり方などについて、民間も含めた幅広い方々と検討・協議していかないか。

A 今後、一般会計からの約20億円の繰入金に依存し続けるのは難しくなる可能性があるため、財政状況を踏まえ、経営形態についても検討する必要がある。

「つながりの輪支えあい事業」移行に向けた支援体制の構築状況は

Q 来年4月に設置されるつながりの輪サポートステーション(つなサポ)はどのような体制で臨む計画か。

A 官民連携の窓口「つなサポ」を市役所会議

棟1階に設置。職員10人、相談室2室を確保し、主たる業務は重層事業マネジメントと生活困窮者支援である。

Q 既存の相談窓口の名称を分かりやすく変更する計画はどこまで進んでいるのか。

A 来年度から、地域包括支援センターを「高齢者サポートセンター」、相談支援事業所を「障がい者サポートセンター」へ名称変更し、初めての方にも用途が一目で分かる窓口にします。



一般質問 Q & A

新しい風

小林 孝幸 議員

 詳細はスマホで
チェック!


運転免許証自主返納支援事業の支援の拡充

Q 運転免許証返納支援事業において、対象年齢を75歳以上としている現行制度の過去3年間の実績は。

A 西尾警察署によると、令和4年は468人、5年は457人、6年は467人とのこと。このうち、市の支援事業を申請した人数と割合が、4年が348人で74.4%、5年は367人で80.3%、6年は343人で73.4%である。

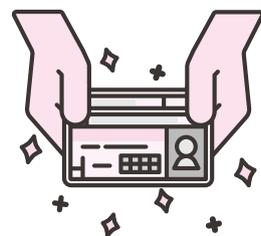
Q 対象年齢の引下げを実施しないか。

A 運動能力が低下した市民が無理に運転を続けることで、交通事故リスクが増大する状況を未然に防ぐ必要があり、幅広い市民に対して交通安全向上を図るべきだと

考えている。対象年齢の引下げは、交通安全と事故防止の観点からも必要性の高い施策だと認識しており、前向きに検討を進めていきたい。

Q 何歳まで引き下げのかが気になるところだが、この際全年齢を対象にしてはどうか。

A 近年の社会情勢や住民の移動実態に加え、本市の地理的特性を考慮すると、運転免許証の自主返納は年齢にかかわらず、返納する人にとって非常に大きな決断だと思う。運転免許証を自主返納する市民は、交通安全への意識の高さや、その背景にある様々な個別事情が存在することから、年齢を問わず自主返納に踏み切る人たちがいる現状を踏まえ、全て自主返納者を対象とする方向で検討していく。年齢制限を撤廃することで支援の形がより柔軟になり、多くの市民にとって交通安全を考える契機となることを期待している。



新しい風

松崎 隆治 議員

 詳細はスマホで
チェック!


市長の所信表明について

Q 夢や希望を持つことの大切さを訴えていくとのことだが、なぜ重要と考えたのか。

A 未来志向の言葉を、市民がためらわず口にできることが重要である。夢や希望を語ることが地域の可能性を広げる第一歩であり、こうした姿勢が将来にわたり活力ある地域であり続けるために欠かせない考え方と認識している。



Q チャレンジしやすいまちの実現のために、どのような仕組みを整えるのか。

A 市民公募事業を常設し、地域課題の解決や新しい挑戦へ、資金面や広報面で応援していく。

Q 市政運営から市政経営にする意識づけをどのように行うのか。

A スクラップ&ビルドの徹底や見積徴収ルールの明確化等を検討する。「部長会議」を「市政経営会議」に変更し、市民本位、コスト等を意識した改善を協議し決定していく。

Q 企業版ふるさと納税の獲得のため、全庁的にPR、営業活動を行わないか。

A 職員一人ひとりがPR、営業活動していく必要があると考えている。

Q 予算は財政調整基金に依存しない、景気に影響されない編成が必要だが、どう考えているか。

A 歳出削減に努め、財政調整基金に依存しない予算編成が必要と考える。

一般質問 Q & A

れいわ新選組西尾

山市 志保 議員



詳細はスマホで
チェック!



西尾市を住みたい市にするために当たり前の子育て支援と食の安全を

Q おむつ・ミルクは赤ちゃんが生存していく中で最低限必要であるが、本市でのおむつ・ミルクの定期便についての考えは。

A おむつやミルクの銘柄にこだわりがある家庭や、そもそもミルクを使用していない家庭もあり、まず子育て家庭のニーズをしっかりと把握することが必要であると考えている。

保育士の処遇改善について

Q 本市における保育士の配置について1歳児は国の基準

を上回っているが、その他の年齢の乳幼児も含め、これで十分という認識か。

A 令和7年8月1日現在の状況での回答は、1歳児について、国の基準は6対1であるが、それ以上である5対1、その他の年齢について、0歳児3対1、2歳児6対1の国の基準に沿った配置をしている。

幼児については、新しい基準である3歳児15対1、4・5歳児25対1に近づくように努めている。基準を満たしているクラスは3歳児76%、4・5歳児95%となっている。今後も基準に沿った配置が必要であると考えている。



明石市おむつ定期便

公明党西尾市議団

山本 栄児 議員



詳細はスマホで
チェック!



日本語指導が必要な児童・生徒の教育環境は

Q 小・中学校における日本語指導の現状と課題は。

A カラフル支援員の巡回回数が限られることや県の日本語指導教員の配置不足。そのため教育委員会は大学教授等を招き、研修会を開催し、教員や支援員の指導力向上を図っている。

Q 子どもたちが将来にわたり安心して学べるようにするため、本市の将来像をどのように考えているか。

A 基本理念「多様性を豊かに みんなで創る にしおの未来」のもと、町内会長や消防団員として活躍する外国人の事例周知、LINEの多言語化などを進め、日本人と外国人が歩み寄る社会を目指していく。

交通弱者の移動支援を

Q 福祉部門との連携や地域住民との参画をどのように進めていくのか。

A 西尾市地域公共交通計画の策定に併せて在り方について、今後は検討をしていく。

Q 名古屋市のように指定難病を持つ方を対象に、くるりんバスを無料で利用できる制度を導入してはどうか。

A 患者さんのご苦勞は十分に理解できるところなので、指定難病を持つ方を対象にくるりんバスを無料で利用できる制度の導入について、前向きに検討をしていく。



一般質問 Q & A

参政党西尾

神田 たかひろ 議員



詳細はスマホで
チェック!



西尾の豊かな海の資源と観光について

Q 海洋環境の改善を目的とした取組内容と効果は。

A 栄養塩類の中でも、窒素・リンは海藻類の成長や、アサリの餌となる植物プランクトンの増殖に重要な物質である。浄化センターにてリンの増加管理運転を実施した。効果として、ノリの色落ち、アサリの稚貝減耗が軽減された。



植物プランクトンをアサリが
摂取り、海水が浄化された実験

Q 栄養塩類の管理や、環境基準の見直しには多方面の連携が不可欠であるが、どのように体制を構築し、進めていくか。

A アサリの水揚げ量の回復を目指し、漁業者・漁協・関係行政機関・学識経験者・愛知県水産試験場等で構成される「協議会」のような組織を設立し、議論ができる体制をつくっていきたい。

小・中・義務教育学校等の体育館の空調設備の設置について

Q 避難所でもある体育館の空調設備の設置は、市民の命に直結する重要な課題であるが、市長はどう考えているか。

A 体育館空調の必要性は十分感じている。現状は、特別教室の空調整備を優先する方針だが、財源の工夫や方法次第で体育館空調整備を前倒しできないか検討している。市民の期待に応えられる方法を、全力を挙げて考えていきたい。

みらい創政会

大須賀 竜也 議員



詳細はスマホで
チェック!



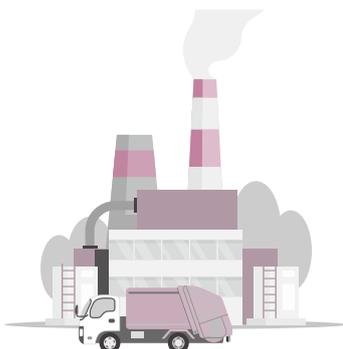
広域ごみ処理施設の整備

Q 物価変動等に伴う増減額を加算した設定額の内訳は。

A 事業費の内訳は税込みで、設計・建設費は 344 億円、20 年間の運営費は 217 億円である。

Q 事業費を抑えるための対策を取っているか。

A 施設規模の見直し、プラットホーム幅の縮小やピット容量の削減等の要求水準の変更を行い、事業費の抑制に努めてきた。



旧吉良支所等の跡地

Q 今後の計画はどのようなか。

A 今年度中に解体工事を終了し、民間での利活用が見込まれる土地であることから、売却をしていく予定。

Q 売却のスケジュールはどのようなか。

A 来年度、一般競争入札で売却していきたいと考えている。

コミュニティ公園の再整備

Q コミュニティ公園の再整備の予定をどのようなか。

A 今年度、基本設計業務を発注しているので、地域との公園づくりに向けたワークショップを開催していく。その後、令和 8 年度に既存施設を解体し、9 年度に実施設計を行い、10、11 年度の 2 年間で整備工事を実施する予定としている。

一般質問 Q & A

新しい風

牧 一心 議員



詳細はスマホで
チェック!



障害者就労促進に向けた優先調達制度の活用と改善を

Q 令和6年度の第3号随意契約の総額のうち、障害者就労施設への発注実績はどれほどか。

A 単価契約を除いた契約件数が107件で総額約2億1990万円、そのうち障害者就労施設への契約件数は24件で総額約668万円である。

Q シルバー人材センターの受注割合と比較し、障害者就労施設への発注金額が全体の約3%にとどまっている理由は何か。また、障害者就労施設に提供可能な業務については発注を検討できないか。

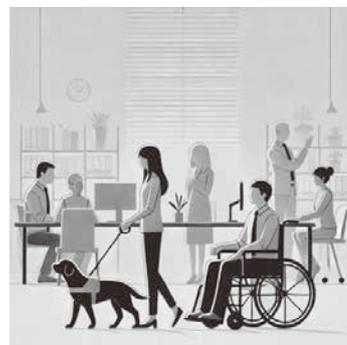
A シルバー人材センターの受注割合が高いのは、役務業務の範囲や規模が大きいことと、長年の業務実績によるものである。受注可能な業務としては、草刈りや掃除業務などと考えている。

Q 市内の障害者就労施設を運営する法人の数は。そのうち、令和6年度に発注している法人の数は。

A 障害者就労施設を運営する法人は、市内に現在15ある。このうち公共発注したのは4法人、うち第3号随意契約による発注は2法人である。

Q 障害者就労施設への発注割合が低い理由について、制度運用上の制約など問題はなかったか。

A 障害者就労支援施設等が受注可能な物品及び役務の情報提供が十分ではなかった。今後情報提供の在り方の改善を検討していく。



立憲民主党西尾

細井 まゆみ 議員



詳細はスマホで
チェック!



市営住宅で快適に暮らしていけるまちづくり

Q 市営住宅には空き部屋が多いが、市独自の入居規程を作り活用しないか。

A 市が独自に法律を緩和する規程を設けることはできない。本年10月に関係条例の改正内容が施行され、居住支援の対象住宅として活用可能になる。「つながりの輪支えあい事業」で活用について検討していく。

Q 建て替え予定のない古い市営住宅の空き部屋を利用して、コミュニティスペースにしないか。

A 住宅以外の用途に変更する場合、市営住宅のまま目的外使用の承認を受ける方法、用途廃止した後に変更する

方法の2種類ある。いずれも個別に慎重な検討が必要である。

Q 一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、市独自の見守りシステムを導入してはどうか。

A 現在の緊急通報システムを設置している世帯数は67世帯。今年9月からは携帯端末を無償貸与する新システムを導入。見守りセンサーが熱中症のリスクを未然に防ぐ機能などを備えているので、見守りが必要な世帯に広く普及させていきたい。



Q バス停の位置を見直せないか。

A 地域の総意が大前提だが、見直す必要性が生じた場合には利用者ニーズを適切に踏まえ、運行事業者などと慎重に対応していく。

一般質問 Q & A

日本共産党西尾市議団

前田 修 議員



詳細はスマホで
チェック!



佐久島の救急搬送について

Q 佐久島の救急搬送で、海上タクシーなど利用できない時、島の漁師の漁船で救急患者を搬送するとの方針だが、この方法をよしとすべきでないと思うが。

A 現状の対応が最善とは考えていない。複数の離島を抱える地域では、救急艇による搬送をしており、今後、調査研究していく。

イノシシ被害への防護柵設置補助の拡充を

Q 捕獲者への報奨金の上乗せや免許取得費用の補助など

の検討は。

A 3世帯以上で共同実施する場合の防護柵の設置には、国費の上乗せ分として、1m当たり1000円を補助する。また、捕獲費は、1頭当たり2万1千円を2万3千円に、免許取得費用の2分の1を補助する。

公共施設再配置について

Q 一色老人福祉センターの施設を解体することの問題点をどのように考えるか。

A 浴室と機能回復訓練室は一色地区からなくなるが、それ以外の機能は子育て・多世代交流プラザなどに移転する。



一色老人福祉センター

Q 「こどもアトリエ」は、児童の大事な居場所になっている。入り口のロビーに追い出されることになるが、子どもの意見を聞く場を設けるべきだと考えるが。

A 一度、検討してみたい。

減税日本にしお

くろの 拓海 議員



詳細はスマホで
チェック!



物品および役務の提供に関わる指名競争入札について

Q 1社のみ入札については競争性に欠けると考えるがどうか。

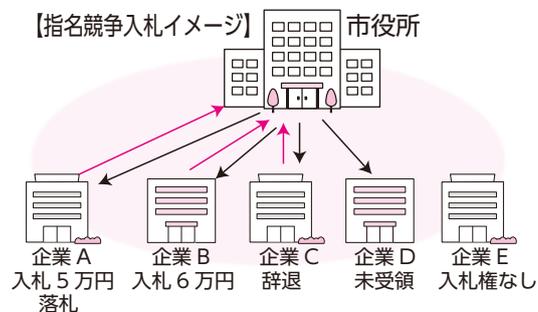
A 入札参加資格の有無、地理的条件、技術的適正を考慮し、適正に入札参加者を選定しているので、競争性に欠けるとは考えていない。

Q 他市では未受領の場合、指名業者から外されるなどの措置が取られることもあるが、今後そのような対応は考えるか。

A 未受領を理由に指名を外すのではなく、未受領になった要因を分析し、指名の判断要素の一つとして競争性を損なわないように配慮する。

Q 予定価格を公表している案件のうち、落札率が100%となっている案件があるが問題ないか。

A 原則、参考見積りを複数の業者から徴取すること、見積りが特定の業者に偏らないようにし、適切に予定価格を定めている。適正な予定価格の設定、公正な入札手続が執行されているので問題はない。



Q 品質の高いサービスを提供する優良な事業者を選定するための対策を検討しないか。

A 優良な事業者を選定するための対策として、指名業者リストの見直し、入札条件の改善、分割発注の検討、過去の入札実績の分析、他自治体の事例を参考にすることの検討をする。

一般質問 Q & A

みらい創政会

藤田 秀徳 議員



詳細はスマホで
チェック!



水田を守り、未来の食と地域農業をつなぐ施策は

Q 水田面積の減少について 10 年前と比較し、どう捉えているか。また減少の要因は。

A 10 年前から約 150ha 減少している。年間約 15ha の水田が失われており、地域の農業生産力や食料安全保障、環境保全の観点からも重要な課題である。減少の要因は、都市化や担い手不足、休遊地の増加、異常気象など。今後も農業と工業とのバランスを考慮して、土地利用を図っていく。

Q 長期的な人口減少を見据え、農地を将来世代に残すための戦略は。

A 国・県・関係機関、生産者、JA 西三河と連携し、令和 9 年度策定予定の「農業振興ビジョン」では、担い手の育成や農業の効率化、農地保全を含めた中長期な戦略を示し、地域特性に合わせた施策で持続可能な農業基盤の確保を目指して取り組む。

Q 水田を防災インフラとしての認識と防災機能維持への取組は。

A 雨水の貯蔵、地下水の涵養など防災効果がある。多面的機能支払給付金事業を継続し、多面的機能の維持・発揮に取り組む。



Q 都市計画マスタープランにおける工業系産業拠点の選定基準は。また未利用地の状況は。

A 地理的特性や災害リスク、交通利便性や周辺環境などの開発条件を、農業振興地域も含めて検討している。開発可能な未利用地は、農地保全や地域全体のバランスを重視し、農業と工業の両立により、持続的発展を目指す。

無所属

石川 まゆみ 議員



詳細はスマホで
チェック!



西尾市民の命と健康を守るために

Q PCR 検査装置の導入時期と目的について、1 台目は新型コロナウイルス感染症のために購入したとのことだが、PCR 検査の陽性判定イコールウイルスの感染性の証明ではないとのこと認識していたか。

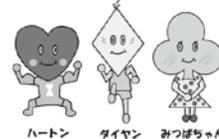
A PCR 検査装置を導入した令和 2 年 9 月頃、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけは、いわゆる 2 類相当だったことから、PCR 検査は必須であった。PCR 検査も、偽陽性及び偽陰性となる可能性がある。PCR 検査の陽性判定イコールウイルスの感染性の証明ではないことは、医師は認識している。

有機農業の推進について

Q 西尾市の有機農産物を出荷している、または今後出荷したい農家数はどのくらいか。

A 有機農産物は有機 JAS 認証が必要で、化学肥料・農薬を原則使用しない農産物である。特別栽培農産物は農薬・化学肥料を 50% 以上削減したものである。昨年度末の調査では、有機農業に取り組む生産者は 51 人、今後取り組みたい生産者は 38 人であった。

西尾市食育キャラクター



ハートン タイマン みつぼちゃん



その他の質問

- ・漢方医を雇用し、他の総合病院との差別化を図らないか
- ・みどりの食料システム戦略推進交付金の活用を
- ・今後の有機農作物の普及に対する計画は

一般質問 Q & A

新しい風
牧 博之 議員




詳細はスマホで
チェック!



消防団について

Q 消防団員は全国的に減少しているが、本市の団員数の現状と過去との比較はどのようなか。

A 基本団の一色消防団は、条例定員 117 人に対し実員 97 人、充足率 83%、吉良消防団は 102 人に対し 80 人、充足率 78%、幡豆消防団は 77 人に対し 50 人、充足率 65% である。基本団全体の充足率は、条例定員 296 人に対し実員 227 人で 77%。機能別団は、条例定員 347 人に対し 287 人で充足率は 83% である。

Q 消防団員の構成員に女性や外国籍の方が入り多様化し

ていると聞かすが、どのようなか。

A 基本団に 18 人、機能別団に 18 人の合計 36 人女性の団員が、外国籍の団員は 5 人が在籍している。

Q 消防団勧誘の課題にどのように取り組むか。

A 消防団活動や運営経費負担の見直しを図る。団員勧誘に際してはご理解いただいている地元企業に対し「西尾市総合評価競争入札」におけるポイント加点に加え、新たに今年 7 月から「育成型入札制度」についても加点の対象とした。



その他の質問

- ・消防団員が在籍している年数はどうか
- ・消防団員確保のために行っている取組はどのようなか

無所属
杉浦 こうき 議員




詳細はスマホで
チェック!



財政調整基金取崩しにより危機感を増す 財政運営について

Q 市の貯金に当たる財政調整基金（残高約 65 億円）の約 4 割、28 億円という前代未聞の取崩し予想がされるほど財政は危機にさらされており、実施計画書の変更は避けられないのでは。

A 根本的な見直しをする必要がある。

Q 実施計画書における先送り可能事業の洗い出しとして、西尾城大手門跡整備への見解は。

A 先送りできない。

Q 国からの補助金が終了するフルマラソンは。

A 継続開催していきたい。

Q 各部局の答弁をまとめると、先送りできる大規模事業

はほぼ無いとのことであるが。

A 少なくとも検討段階では、事業の大小を区別せず、総合的に歳出抑制に努める必要がある。

通学距離による学校選択を可能に

Q 過去の一般質問では「通学距離が短いことを理由に指定学校の変更を認めた事例は無い」との答弁があった。その後、指定学校より家から近い隣接校に通学を希望する生徒がいた場合、どう対応してきたか。

A 登下校時の熱中症等リスクを勘案し検討した結果、指定学校まで中学校で 5 km 程度以上、小学校で 3 km 程度以上あり、隣接校への変更で通学距離がおおむね半分以下に短縮され、安全上支障が無い場合、変更を認めていく。令和 7 年 9 月から適用する。



トピックス

西尾について学ぶ市役所参観日

夏休みの親子向けイベント「西尾について学ぶ市役所参観日」が7月31日と8月28日に開催されました。小学生とその家族31組が市役所の庁舎内の各課を巡り、クイズラリーなどを通して行政の役割などを学びました。議場では、議長席や市長席に座ったりして座り心地を楽しんでいました。

市民病院に導入
手術支援ロボット「hinotori」
を見学

西尾市民病院に導入された手術支援ロボット「hinotori」など医療機器見学会が9月27日に行われました。導入によるメリットとともに、田中俊郎病院長から操作方法などの説明を受けました。また、病院事業に関する医局制度や地域医療の将来、電子カルテの更新の勉強会にも参加しました。

議会報告会のご案内

議会報告会

共に築く住みよいまち西尾

開催日

2026

1.15 木

会場

西尾市役所

1階 多目的室

時間

18:30 ▶ 20:30

受付開始 18:00

どなたでも
参加できます。

Zoomでの視聴もできます。

決算認定

令和6年度決算を認定

令和6年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出予算の執行実績である決算を審査するため、9月8日～11日の4日間にわたり、予算決算委員会各分科会にて審査しました。

慎重審査の結果、全ての会計が適法かつ正当に行われたものであると認定しましたが、ここでは、その審査した内容の一部を紹介します。

企画総務分科会

Q 地方債発行額が80億5896万円で、構成比では10%、前年の2倍以上となっているが。

A 前年に比べ市債の発行額が46億8576万円の増加となった。市債は、公共施設の老朽化対策、防災対策、学校施設の設備更新などである。将来投資として世代間負担の平準化、当該年度の負担軽減を図るためにも市債の額が増えてしまうことは、ある程度致し方ないと考えている。後年度に発生する公債費の増加にも注意しつつ、事業の費用精査、優先度を判断していきたい。

Q ふるさと納税による収入は。また、市民の他自治体へのふるさと納税の影響を加味するとどうか。

A ふるさと納税により20億8138万円の寄附を受けた。返礼品の委託料やポータルサイト利用料等を差し引いた結果、11億3755万円となった。一方、市民が他の自治体に寄附したことによる市民税控除は5億8024万円となるが、この減収額の75%の4億3518万円が国から補填される。結果、差し引きで、正味9億9249万円の利益となった。



Q 市職員の退職手当は。

A 令和6年度、一般職45人に対して合計5億1607万円を支給した。平均額は1999万円、平均勤続年数は36年であった。

Q 住民監査請求の近隣市の状況と、西尾市は。

A 岡崎市3件、豊田市1件、高浜市3件、みよし市2件、西尾市6件、碧南・刈谷・安城・知立は0件である。西尾市に住民監査請求が多い要因は、市政に対する関心が高く、住民監査請求の制度や手続きを理解している市民が多くいるのが要因と認識している。

Q 救急車の出動件数と問題要請などは。

A 救急出動件数は7983件で7491人を搬送しており、過去最多となった。種別では、急病5168人、一般負傷1127人、交通事故482人、労働災害69人、火災5人、水難事故4人など。65歳以上の高齢者割合は、全体の約65%であった。また、明らかにタクシー代わりと思われる問題要請は、「微熱がある」「入院予定で病院へ連れて行ってほしい」など、332件あった。



Q 市職員のハラスメント、メンタルへの対策は。

A 職員のハラスメント問題の防止、メンタル不調の予防、早期発見による職場の生産性向上を目的に、民間の専門家による外部相談窓口を設置している。ハラスメント相談は6件、メンタルヘルス相談は4件であった。

Q 消防団の無活動団員の数は。

A 年間の無活動団員は5人。うち、4人は途中退団している。活動回数5回以下の団員は18人であった。



Q 市民税と固定資産税の不納欠損額は。

A 個人市民税の滞納処分で、執行停止1号(滞納処分できる財産のないもの)は435件、1135万円。2号(生活を窮迫する恐れのあるもの)が169件、264万円。3号(住所、財産が不明)が1524件、2735万円となった。固定資産税は、1号が271件、1177万円。2号が27件、53万円。3号が18件で14万円。消滅時効は58件で50万円となった。

¥ 決算認定

文教交流分科会

Q 前年度と比べ、教員の人員不足対策の結果は。

A 市内小・中・義務教育学校の令和6年4月時点の教員の未補充は17名、令和5年4月時点の未補充は20名。未補充を減らすため、県教育委員会に適切な配当となるように求めたり、西尾市への講師登録を呼びかけたりして教員不足への対応を講じている。

Q 小学校水泳授業を委託した成果は。

A 令和6年度は、前年度の3校に加えて、新たに5校を温水プールに移行し、ドルフィンスイミングクラブとホワイトウェイブ21で、全校8校での水泳指導の支援業務を実施した。主な成果は、安全管理が行き届き、天候に左右されない安定した学習環境のもと、全学校が予定通り、専門インストラクターによる質の高い水泳指導を受けることができたことや、学校プール管理が不要となり、教員の他職務への従事が可能になった。



Q 教育振興基金積立金3億3597万723円の内訳は。

A 西尾市ふるさと応援寄附金が、3億3040万4000円、教育振興に対する指定寄附金167万円、基金運用利息が389万6723円となっている。前年度と比べて約6100万円の減額となっているが、その主な理由は、西尾市ふるさと応援寄附金が約6400万円減少したため。

Q スマートロック構築業務委託料の事業詳細は。また対象となった施設は。

A 学校体育施設スポーツ開放事業において、小中学校の体育施設を対象に電子錠の整備を進めた。支所での対応になった幡豆中学校を除く31校で電子錠の設置が完了し、管理人の省人化を図ることができた。

Q フルマラソン開催事業で、第3回大会の宿泊者数と増やすための取組は。また経済効果は。

A 第3回大会は、当日にランナーからアンケート調査を実施しており、それをもとに算出したところ約700人と推測している。大会リーフレットや公式ホームページで宿泊プランを紹介し、会場のバス送迎や当日の早朝対応、レース後の入浴などを行った。経済波及効果は、約3億5000万円としており、市内消費額は約7500万円と推測している。



Q 商工費の駐車場整備関連調査業務の詳細は。

A 道の駅にしお岡ノ山は、慢性的な駐車場不足が課題となっているため、駐車場の混雑状況について、現状把握を行うための状況調査を実施した。業務内容は、駐車場の時間帯別、車種別の入出庫、駐車台数などの利用状況に関する調査、調査結果から見える現状の問題点や課題の整理など。7月から9月にかけて、休日3日間、平日1日間の計4回の調査を行った結果、休日は小型車の駐車マスが満車状態になっており、駐車場内の道に停車している車両や、止められる駐車マスを探すための入庫待ちが発生している。平日は、小型車の駐車マスは空いているものの大型車のマスは満車状態で、車路に



停車している車両も見られる状況が分かった。調査結果を踏まえ、小型車の駐車は、岡ノ山遊ばっ茶広場への案内表示を道の駅駐車場内の壁面に掲示し、入庫待ちの緩和に努めている。現在、名古屋国道事務所と課題などについての話し合いを進めており、調査結果は、課題解決に向けた将来的なビジョンを考えていく際のエビデンスに基づく資料として今後、活用していきたい。

決算認定

厚生環境分科会

Q 生活保護費が令和5年度より約1億1千万円の増額となっているが、近年の推移と内訳はどのようなか。

A 令和元年度が9億2782万円、6年度が13億9290万円と5年間で扶助費は約1.5倍に増加している。内訳は6年度末の保護受給世帯が608世帯で5年で約1.4倍に増加している。特に受給世帯の約半数を占める高齢者世帯や、傷病者世帯の増加により医療扶助の増額が顕著となっている。

Q 地域活動支援センター運營業務委託料7221万円の委託内容と成果はどのようなか。

A 委託先はNPO法人ハートネット西尾で、委託内容は主に精神に障害がある方に対する相談支援事業に加え、障害者の日常生活の向上と社会参加を促進するため、通所により地域交流やレクリエーションを実施している。成果は、社会参加が十分でない障害者に、日中の活動の場を提供することでひきこもりを防ぐことで、当事者を孤立させることなく社会とつなぐ拠点としての役割を果たしている。

Q 医業収益で前年度比、約4億円減少の要因はどのようなか。

A 入院収益については令和5年度が入院患者数9万491人で、入院患者1人当たりの単価は5万2103円だったのに対し、6年度は入院患者数8万1418人で、入院患者1人当たりの単価は5万3500円であった。差し引きした減収額は3億5903万円であった。

外来収益では、5年度が外来患者数16万2952人であったのに対し、6年度は外来患者数15万7832人で、減収額は5207万円。



Q 訪問理美容支援事業の執行率はどのようなか。

A 訪問理美容支援事業の執行率は45万2千円の予算に対して約3.8%にあたる1万7千円の執行にとどまった。6年度より対象者を要介護4まで拡大し、理美容事業者組合や地域包括支援センター連絡会などで周知を図ったが利用率が伸びていない。より周知を図るとともに理美容事業者組合等の関係者からの意見を参考に利用方法促進を図っていく。

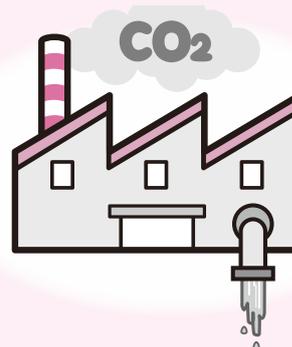


Q 公害対策費の主な環境調査実績における調査結果、および指導に至ったものの詳細はどのようなか。

A 調査の結果、事業所の排水調査については3事業所で基準を超えたため、水質汚濁防止法の指導権限を有する県に報告した。

悪臭調査については昨年7月の調査で1事業者の臭気指数が基準を超えたため、改善計画書を提出するよう指導した。

河川等水質調査については、環境基準が設定されていない河川等を市が調査しており、溶存酸素をはじめとする7項目のいずれか、または複数が高い値となったところが11カ所あった。



¥ 決算認定

経済建設分科会

Q まちなか賑わい創出の空き店舗等活用事業で7件の新規出店を誘致したが、どれほどの賑わい効果が見られたか。

A 令和4年度から6年度に新規出店した計13店に対して実施した簡易なヒアリングでは、合計で1日約200人の来客が創出されている。店舗の多様化は中心市街地の経済効果や暮らしの質の向上だけでなく、既存店舗との相乗効果が創出され、市民に新たな楽しみと充実感をもたらし、市民サービスや幸福度の向上につながっていると考えている。今年度から補助金交付の条件として、西尾未来共創拠点「ニコラボ」のチーフコンサルタントと面談を重ね、持続可能なビジネスモデルシートを作成することにしている。



空き店舗を活用した店内

Q 担い手経営安定推進事業の効果は。

A 農地利用効率化等支援交付金は、農業用機械や施設設備の購入経費で1人が採択され、36万円の補助金を支援している。農業次世代人材投資資金では、農業経営を開始した8人に836万円を交付した。新規就農者育成総合対策費補助金では、延べ11人に必要な資金として2342万円を交付。機構集積協力金では米津町荒井地区に協力金や奨励金として1780万円を交付した。

Q 食育推進事業の委託費の詳細と効果は。

A 西尾市観光協会へ40万円を交付し、小中学校を対象に10件の食育講座を実施した。講座を通して食育活動団体とのネットワーク構築が進み、市民の食への意識向上に寄与している。また、食育啓発用物品作成業務委託料として、プリ・テックへ7万9200円を交付し、啓発用クリアファイルを作製した。食育の理解促進や関心の向上につながっている。

Q 空き家対策事業の成果と課題は。過去に町内会長からあった相談件数の累計は。

A 令和6年度は町内会長等から41件の相談を受け、うち4件が対応を完了している。また、34件は所有者等を調査して対応を依頼したものの、残念ながら解決に至らなかった。解体費用がない、相続人の理解が得られないなど様々な理由で完了が難しい案件となっている。

市が把握・管理している空き家件数は相談があった500件ほど。潜在的な空き家はさらに多いと考えている。

Q 防災ステーション維持管理事業の堤防道路工事の詳細は。平時のにぎわいづくりは。

A 堤防道路整備工事は安全対策で、転落防止用ガードレールや視線誘導標などを整備した。平時の利用としては、水防訓練や防災ヘリコプター訓練会場、ドローン訓練などがあった。今後は、市民の防災意識の向上を図るため、水防災に関する学習や県防災ヘリコプターの訓練見学と併せた分派堰などの施設見学も実施していきたい。



防災ステーション周辺

Q 地域公共交通運行事業委託料で、一色地区で低利用が続いていたいっちゃんバスの代替手段として始めた相乗りタクシーの実証結果は。

A 今年2月21日から実証運行を始めたばかりであることから、3月末までの実績は約100人の登録と延べ28人の利用。実証実験は9月末まで予定しており、7月末までの登録者は約190人、4月から7月末までの利用者は延べ297人と徐々に増加している。10月以降の本格運行に向けた見直しについて運行事業者と協議をしていく予定。

審議結果

01 / 7月臨時会(7月17日)で審議され可決された議案

★西尾市監査委員に青山 繁氏を選任することに同意しました。

条例など	工事請負契約について（生涯学習センター建設工事）
	工事請負契約について（生涯学習センター建設電気設備工事）
補正予算	令和7年度西尾市一般会計補正予算（第4号）

02 / 9月定例会で審議され可決された議案等

★西尾市教育委員会委員に野田順子氏を任命することに同意しました。

条例など	西尾市生涯学習センターの管理に関する条例の制定について
	西尾市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例及び西尾市の議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市救慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市岩瀬文庫の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	旧糟谷邸内文化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市塩田体験館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	市道路線の廃止について
	工事請負契約について
	財産の取得について（プール用ロッカー）
	財産の取得について（指導者用端末（iPad）等）
	令和6年度西尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	令和6年度西尾市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	令和6年度西尾市病院事業会計資本剰余金の処分について
西尾市一色町生田地区の新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する決議	

補正予算	令和7年度西尾市一般会計補正予算（第5号）
	令和7年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	令和7年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第1号）
	令和7年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	令和7年度西尾市佐久島診療所事業特別会計補正予算（第1号）

決算	令和6年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度西尾市佐久島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和6年度西尾市病院事業会計決算の認定について
	令和6年度西尾市水道事業会計決算の認定について
	令和6年度西尾市下水道事業会計決算の認定について
令和6年度西尾市渡船事業会計決算の認定について	

審議結果

03 / 9月定例会に提出された陳情書

陳情書	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択
	国の責任で教職員の未配置問題の改善を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	「高額療養費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書」の提出を求める陳情書	議長預かり
	「就労継続支援B型」における在宅就労支援の制度化についての陳情書	不採択

04 / 議員の賛否の分かれた議案等

7月臨時会および9月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	会派・議員名、表決態度																											
		みらい創政会						新しい風					公明党			共産党			れいわ		参政党		無所属						
		松井晋一郎	本郷照代	青山繁	磯部雅弘	藤井基夫	中村なおゆき	山本道代	藤田秀徳	大須賀竜也	松崎隆治	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西あきひと	牧心	牧博之	渡辺将司	大塚久美子	山本栄児	前田修	くろの拓海	山市志保	細井まゆみ	神田たかひろ	筒井登	中村眞一	ささきえみ	杉浦こうき
工事請負契約について（生涯学習センター建設工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×
工事請負契約について（生涯学習センター建設電気設備工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×
西尾市生涯学習センターの管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	
令和6年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×
令和6年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
令和6年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
令和6年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	○
保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	趣旨	○	趣旨	○	趣旨	趣旨	○	○	○
国の責任で教職員の未配置問題の改善を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○
最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×
「就労継続支援B型」における在宅就労支援の制度化についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	趣旨	×	○	×	×	×	×	×	×	×
西尾市一色町生田地区の新規産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の建設に反対する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

「○」…賛成（採択） 「×」…反対（不採択） 「趣旨」…趣旨採択 「※」…議長のため採決に加わりません。

お知らせ

次回12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/23 勤労感謝の日	24 振替休日	25 議会運営委員会	26	27	28 本会議 予算決算委員会	29
30	12/1 本会議	2 本会議	3 本会議 (予備日)	4	5	6
7	8 企画総務委員会 ・分科会	9 文教交流委員会 ・分科会	10 厚生環境委員会 ・分科会	11 経済建設委員会 ・分科会	12	13
14	15 予算決算委員会	16 議会運営委員会	17	18	19 本会議	20

会議は通常 10 時開会です。

※予定は変更になる場合があります。

議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、全員協議会、部会

表紙に掲載する写真を募集します

「にしお市議会だより」は市民の皆さまにより身近に感じていただくため、表紙に掲載する写真を募集します。テーマは「あなたが好きな西尾のこんなところ」です。撮影された方のお名前・作品タイトルなどを裏表紙で紹介させていただきます。応募にかかる詳細は、議会事務局(Tel65-2182)にお問い合わせください。次号は、あなたの写真が表紙を飾るかもしれません。ぜひご応募ください。

議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士でお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局(Tel65-2182)へお問い合わせください。



議会を見る

放送チャンネル

ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル 112ch

日時

- 12月 4日(木) (12月1日一般質問分)
 - 12月 8日(月) (12月2日一般質問分)
 - 12月23日(火) (12月3日予備日分)
- ※いずれも10時から放送します。

音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音訳版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音訳版は市ホームページで公開しています。

市社会福祉協議会 (☎65・5900/総合福祉センター内)
福祉課(☎65・2113)

編集室

No.160

6月の市議会の改選を経て、新たな顔ぶれで議会がスタートしました。今回の『市議会だより』では、議員30人の抱負・自己紹介を掲載したり、一般質問の原稿を横書きにするなど、紙面改革に取り組んでみました。いかがでしょうか。今後も新しいメンバーによる編集体制のもと、市民の皆さんに『より親しみやすく読みやすい紙面』となるよう委員会内での議論を重ねてまいります。御覧いただき、ご意見をお寄せください。

広報委員

- ◎中根 志信
- 山本 道代
- 山本 志保
- 大須賀 竜也
- 細井 まゆみ
- 神田 たかひろ
- 岩下 一隆
- 山本 栄児
- 福西 あきひと
- 前田 修
- ◎委員長、
○副委員長)



西尾市議会 広報委員会

電話 65-12182
FAX 54-10311

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。